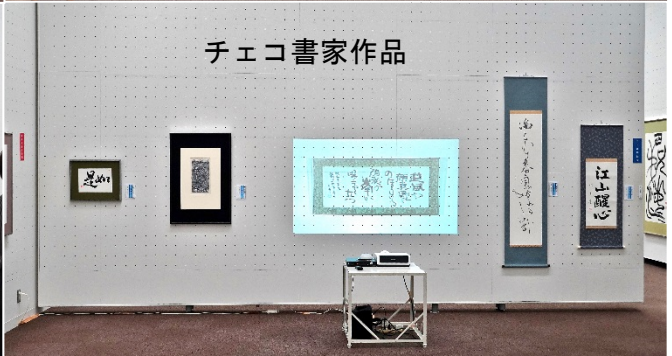


# 第67回東洋書芸展 東京都美術館

令和3年10月16日～22日



韓国書家作品



チェコ書家作品

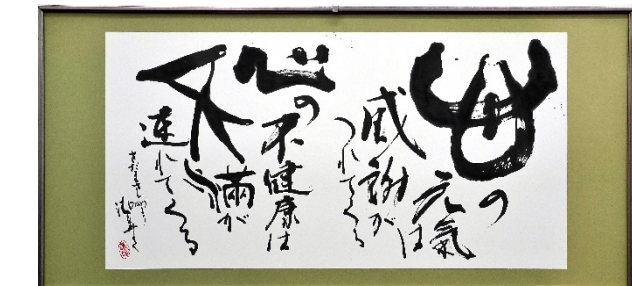
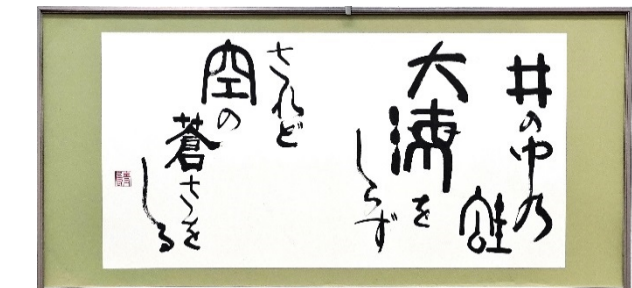
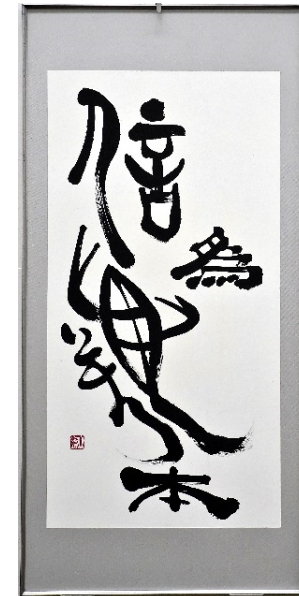
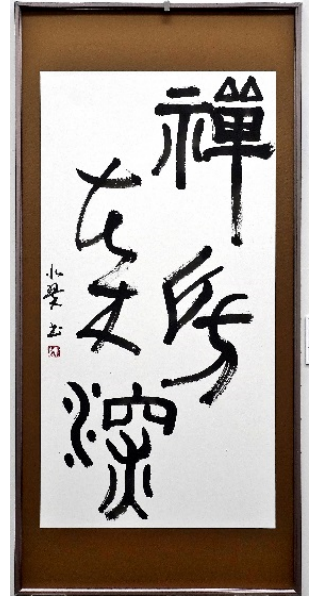
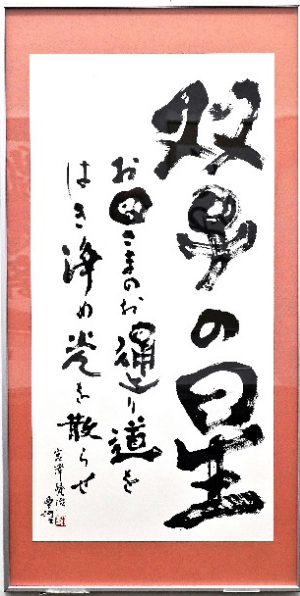


中国書家作品



アンデパンタン部門

当会関係全紙部門作品



アンデパンダン部門 半紙作品



## 第67回東洋書芸展表彰式・祝賀会



## 第67回東洋書芸展表彰式・祝賀会



67 回展表彰式・祝賀会はコロナ禍の中、上野精養軒で開催されました。

密集を避けるため展覧会会場でのテープカットは割愛され、中国・韓国からのご来賓客もいない中で開催されましたので、出席者は来賓を含め 63 名でした。

私も 2 年ぶりに参加し冒頭開会の挨拶で、初唐の書家孫過庭が記した書論「書譜」より「篆は婉にして通なるを尚（たと）ぶ」を引いてお話ししました。

内容は、篆書はしなやかな強さを保ちながら滑らかに運筆することを大切にするという意味です。



宮部北晴

## 第 67 回東洋書芸展当会関係出品者

(順不同・敬称略)

### 全紙の部

青木清華 浅沼北翠 小野寺北華 鈴木清香 宮澤星河 宮部北晴 藤澤北静 千葉梅流  
村上文晴 土橋香晴 鈴木青鳥 今村北州

### アンデパンダン 半紙の部

宮部北晴 光村佑里 原亜希子 今村北州 森下映沙 後藤信子 村上文晴 青木清華 土橋香晴  
鈴木清香 鈴木圭晴 淵脇晴花 宮本綾子 吉田翠晴